



## 早稲田大学文連常任委員会が、愛大当局による自治会「非公認」「便宜供与中止」にたいする緊急抗議声明を発しました！

### 緊急声明——

愛知大学・川井学長による愛大学生自治会の「非公認化」「一切の便宜供与を無期限で中止」の決定に抗議します。愛大の研究サークルに対する「無期限の活動停止」の決定に抗議します。早稲田の全てのサークル員は、たたかう愛大の学生・サークルを全力で支援しよう！！

早稲田大学文連常任委員会 2023年11月13日

早稲田のサークル員のみなさん！ 愛知大学の川井学長は、11月7日、愛知大学学生自治会に対し「学生自治団体としては公認しない」こと、「11月14日付けで、一切の便宜供与を無期限で中止」することを一方的に通告しました。愛大・川井当局は明日にも、愛大の学生自治会室を暴力的に封鎖し、自治会の一切の業務を強権的に停止させようとしています。愛大生の反対の声をふみにじり自治会を力づくで破壊しようとする暴挙に、早大文連常任委員会は強く抗議します。

愛大学生自治会は70年の学生自治の伝統に立脚し、「パレスチナ侵略反対」や「ウクライナ侵略反対」「憲法改悪反対」の反戦運動、「学費の大幅値上げ反対」など学生の生活や諸権利を改善する運動を推進してきました。同時に学館・サークル棟の管理運営権を確立した協定に基づき学生会館を半世紀以上自主的に管理し続けてきました。この学生自治団体としての当然の主張や運動を、川井学長は「学生自治会の執行部が自らの政治的な主張と活動をくりかえし行っている」と称して弾圧し、自治組織ごと破壊しようとしているのです。これは、憲法で明記された「言論・表現の自由」「集会・結社の自由」を真っ向から否定するものに他なりません。絶対に許せません！

それだけではありません。愛大・川井学長は、イスラエルによるパレスチナ侵略やロシアのウクライナ侵略、日本の大軍拡や大学での軍事研究に批判精神を発揮して斬り込んでいる愛大の「社会科学研究会」「国際問題研究会」の2つの研究サークルに対して「無期限の活動停止」を一方的に通告しています。文科省の「大学設置基準」という省令で明記された「厚生補導」を基準にしてサークルの研究内容に介入し、「活動内容が政府に批判的である」とみなしてこれらのサークルを「活動停止」に追い込もうとしているのです。「言論・表現の自由」「学問の自由」をふみにじるとんでもない暴挙です！

愛大・川井当局によるこうした学生自治会とサークルに対する弾圧こそは、「反政府的」とみなした一切の運動と組織を弾圧した戦前の治安維持法と全く同じ考え方が貫かれた極めて許しがたいものです。愛大・川井当局はこれを政府・文科省、警察権力と一体となって強行しています。まさに新たなファシズムであり、岸田政権の憲法改悪の先取りそのものに他なりません。「言論・表現の自由」「平和主義」を否定する岸田政権の改憲に反対してきた早稲田の文連加盟サークルは、今回の事態に対して強く抗議を表明します。

早稲田のサークル員のみなさん！ いま愛大の学生は自治会のもとに団結し川井学長一派による暴挙に対する反撃のたたかいを推し進めています。私たち早稲田のサークルは、これまで愛大学生自治会執行部の役員3名に対する愛大当局の「退学処分」決定を撤回させるために、サークル内で討論をくりひろげ、愛大生への連帯のメッセージを集めてきました（別紙をご参照ください）。愛大当局によって新たな弾圧がかけられたいま、さらにたたかう愛大生・サークルを全力で支援してゆきましよう。私たちは愛大当局による自治会「非公認化」や「退学処分」、サークルの「無期限の活動停止」という許しがたい決定を覆すために、愛大のみなさんと最後の最後までともにたたかいます。団結して頑張ろう！

文連のよびかけにこたえ、

# 早稲田のサークルから「退学処分」反対！の声が 続々とあがっています！

「退学処分」撤回をめざす愛大生を支援しよう！  
早稲田のサークルからも連帯メッセージを届けよう！

「退学処分」反対！！  
一緒に頑張りましょう

ウクライナ反戦デモの禁で退学処分  
など、言論の自由も無視して行いは  
許されるものではおぼろげに  
感じています。間違いない  
正しいと思います。今後はいかに  
お体にはお気をつけ。

反戦の声を上げる勇気に感服  
いたしました。  
現在大学の理不尽な処分が横行し  
精神的に苦しい状況にあると思いが  
た強くなります。  
お体に気をつけてお過ごしください。

何かを発信する権利はみんな持っているもの  
だと思うので、不当な圧力負けないよう  
がんばってください。

政府や大学当局に異議を唱えるものを  
政治的に弾圧するのは絶対に  
許せない！

早稲田のサークルからも「退学処分」  
撤回！、「戦前の戦前」を許さない！  
の声大にあげていこう！  
ともにがんばりましょう！

東京からも声を上げ  
ていきます。「退学」を  
撤回させるぞ！  
すべての愛大生の  
皆さんと共に！  
愛大

まだ書いてない方、  
ぜひ協力して下さい！



今のこのように見てもおかしい  
処分に対して負けずに頑張っ  
て下さい！

ウクライナ反戦デモで意志表示を  
することは大学生として大切でと  
も立派な行為だと思います。  
こういう活動を大学が認められ  
どうか決めるのはおかしい。  
大学が言論の自由や学生を尊重  
してくれようとして！  
不当な処分に私も反対します。

文化団体連合会 (090-2331-4456)

「国際問題研究会」と「戦争・貧困・環境を考える会」は、早稲田祭(11/4～5)の研究展示発表のなかで愛大生の「退学処分」問題を取りあげ、来場した人たちに広く発信しました！

国際問題研究会(11/4)



戦争・貧困・環境を考える会(11/5)



両サークルの展示発表には多くの来場者が訪れました(国際問題研究会:約300人、戦争・貧困・環境を考える会:約450人)。とりわけ、愛大生「退学処分」問題の展示の前には黒山の人だかりができ、「戦前の大学みたいだ」「こんなことが許されていいのかわからない」といった驚きや怒りの声が多数寄せられました。

愛大生への連帯メッセージ  
はこちらから



愛大自治会「公認廃止」の  
資料はこちらから

